

プログラム名：脳情報の可視化と制御による活力溢れる生活の実現

PM名： 山川 義徳

プロジェクト名： 脳情報インフラ

委 託 研 究 開 発

実 施 状 況 報 告 書 (成 果)

平成 2 9 年 度

研究開発課題名：

脳情報クラウド

研究開発機関名：

国立大学法人東京大学

研究開発責任者

岡ノ谷 一夫

## I 当該年度における計画と成果

### 1. 当該年度の担当研究開発課題の目標と計画

ImPACTプログラムで開発した Brain Healthcare Quotient(BHQ)を活用した研究について、機能的 MRI を利用した脳機能測定を支援する。達成目標としてのべ 350 名分の撮像を計画している。BHQ 個人チャレンジで募集された脳の健康を増進させるために個人が創案した課題の効果についてのデータを、1 名につき 4 回、課題実行前と課題実行後に計測した。約 80 名が研究に参画した。

### 2. 当該年度の担当研究開発課題の進捗状況と成果

#### 2-1 進捗状況

各個人の研究について、実験参加者側の都合による突然のキャンセルを除き、必要な人数の実験参加者の撮像を完了した。各個人において、参加者の脳から VMR、拡散 MRI、安静時機能的 MRI を撮像した。

#### 2-2 成果

約 80 名の撮像データを取得した。

#### 2-3 新たな課題など

試験実験の段階は完了したので、今後は統制群を導入した実験が必要である。

### 3. アウトリーチ活動報告

研究は完了していないので、アウトリーチ活動は行っていない。